

**平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)**

平成27年1月30日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ポラテクノ  
 コード番号 4239 URL <http://www.polatechno.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 崎玉 克彦  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 0255-78-4700

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	19,592	3.7	4,551	14.9	4,967	13.5	3,246	16.6
26年3月期第3四半期	18,901	—	3,959	—	4,376	—	2,784	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 4,756百万円 (△9.1%) 26年3月期第3四半期 5,234百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	78.32	77.72
26年3月期第3四半期	67.16	66.48

(注) 26年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	37,181	31,320	83.9
26年3月期	32,899	27,011	81.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 31,184百万円 26年3月期 26,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.25	—	7.75	14.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	4.7	5,500	7.2	5,900	9.3	3,800	9.3	91.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	41,450,000 株	26年3月期	41,450,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	77 株	26年3月期	77 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	41,449,923 株	26年3月期3Q	41,449,923 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな拡大が続き、中国では成長の勢いに弱さが見られました。また、欧州や一部の新興国では足踏みの状態ながらも、持ち直しの動きも見えました。日本経済は個人消費に弱さが見られたものの、緩やかな回復基調が続きました。一方、世界的な原油価格の下落は世界経済の不安定要因となりました。

このような環境の中、当社グループでは、グローバルかつ変化の大きい事業環境においても、継続的に成長できる収益体質を実現すべく、新製品の開発、新規市場の拡大、コストダウンを推進してまいりました。また、一層進行した円安の影響も受けました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は195億92百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は45億51百万円（前年同四半期比14.9%増）、経常利益は49億67百万円（前年同四半期比13.5%増）、四半期純利益は32億46百万円（前年同四半期比16.6%増）となりました。

セグメント別では、光学フィルム事業におきましては、サングラス用素膜や温度追従型楕円偏光フィルム（TEP）の出荷が減少しましたが、産業用や車載用LCDパネル向けの染料系偏光フィルムや楕円偏光フィルムの出荷が伸長し、光学フィルム事業全体では売上高が増加しました。

精密部品事業におきましては、無機偏光板ProFluxについては通常の液晶プロジェクター向けの出荷が伸長した一方、デジタルシネマ等の事業用は低調でした。また、X線分析装置部材については出荷が堅調で、精密部品事業全体では売上高が増加しました。

利益面におきましては、生産コストの削減を進めたことに加え円安の影響により増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ42億81百万円増加し、371億81百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加25億61百万円、受取手形及び売掛金の増加7億97百万円、有価証券の増加1億64百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億65百万円、有形固定資産の増加4億47百万円でありま

す。当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ27百万円減少し、58億60百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加4億73百万円、未払法人税等の減少3億94百万円、退職給付に係る負債の減少2億66百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ43億9百万円増加し、313億20百万円となりました。主な要因は、四半期純利益32億46百万円、株主配当金の支払による減少6億11百万円、為替換算調整勘定の増加14億53百万円、退職給付会計の会計基準変更に係る期首利益剰余金の増加1億65百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成26年5月8日に公表いたしました平成27年3月期の業績予想を修正いたしました。前期末と比較した円安の影響により、為替差益が発生することによる経常利益以下の増益を見込んでおります。

当該予想数値の修正に関する事項は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用については、従来、在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、近年在外子会社における収益及び費用の重要性が増しており、今後もその傾向が継続すると見込まれる中、期末時点で受ける一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を排除し、会計年度を通じて発生する損益をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。この変更に伴い、前年四半期及び前連結会計年度については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高は8億79百万円、営業利益は4億67百万円、経常利益は77百万円、税金等調整前四半期純利益は77百万円、四半期純利益は53百万円減少しております。また、利益剰余金の前期首残高は2百万円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高が2百万円減少しております。

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が2億56百万円減少し、利益剰余金が1億65百万円増加しております。また、損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,078,777	11,640,659
受取手形及び売掛金	5,363,932	6,161,918
有価証券	1,110,204	1,274,326
商品及び製品	1,751,449	1,837,631
仕掛品	1,588,343	1,492,885
原材料及び貯蔵品	2,293,645	2,459,589
その他	1,031,414	1,139,792
貸倒引当金	△27,803	△21,948
流動資産合計	22,189,963	25,984,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,137,655	4,902,700
機械装置及び運搬具(純額)	3,523,271	3,321,870
その他(純額)	1,901,163	1,785,442
有形固定資産合計	9,562,090	10,010,013
無形固定資産		
のれん	70,147	43,761
その他	814,957	849,415
無形固定資産合計	885,104	893,177
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	6,238
その他	262,523	290,126
貸倒引当金	—	△3,143
投資その他の資産合計	262,523	293,222
固定資産合計	10,709,719	11,196,413
資産合計	32,899,682	37,181,268
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,135,165	2,608,394
1年内返済予定の長期借入金	275,000	75,000
未払法人税等	982,721	588,718
賞与引当金	350,170	210,661
役員賞与引当金	38,006	48,069
その他	953,416	1,386,687
流動負債合計	4,734,479	4,917,530
固定負債		
長期借入金	150,000	75,000
退職給付に係る負債	288,629	22,253
資産除去債務	25,812	26,680
その他	689,097	818,885
固定負債合計	1,153,539	942,819
負債合計	5,888,018	5,860,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,095,125	3,095,125
資本剰余金	2,761,941	2,761,941
利益剰余金	20,681,844	23,482,592
自己株式	△26	△26
株主資本合計	26,538,884	29,339,633
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	539,380	1,993,207
退職給付に係る調整累計額	△171,937	△147,908
その他の包括利益累計額合計	367,443	1,845,298
少数株主持分	105,335	135,986
純資産合計	27,011,663	31,320,918
負債純資産合計	32,899,682	37,181,268

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	18,901,422	19,592,626
売上原価	10,557,781	10,658,990
売上総利益	8,343,641	8,933,635
販売費及び一般管理費	4,383,684	4,382,056
営業利益	3,959,956	4,551,578
営業外収益		
受取利息	9,196	11,383
為替差益	375,646	378,831
その他	40,199	29,939
営業外収益合計	425,042	420,154
営業外費用		
支払利息	5,962	1,732
その他	2,514	2,182
営業外費用合計	8,477	3,915
経常利益	4,376,521	4,967,818
特別利益		
固定資産売却益	28	—
持分変動利益	37,996	26,015
特別利益合計	38,024	26,015
特別損失		
固定資産除却損	45,784	7,118
特別損失合計	45,784	7,118
税金等調整前四半期純利益	4,368,762	4,986,715
法人税、住民税及び事業税	1,590,030	1,763,696
法人税等調整額	△16,300	△36,960
法人税等合計	1,573,729	1,726,735
少数株主損益調整前四半期純利益	2,795,032	3,259,979
少数株主利益	10,973	13,440
四半期純利益	2,784,059	3,246,539

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,795,032	3,259,979
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,439,715	1,472,907
退職給付に係る調整額	—	24,028
その他の包括利益合計	2,439,715	1,496,935
四半期包括利益	5,234,748	4,756,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,201,296	4,724,394
少数株主に係る四半期包括利益	33,451	32,520

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	光学フィルム 事業	精密部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,730,223	8,171,199	18,901,422	—	18,901,422
セグメント間の内部売上高 又は振替高	201,052	—	201,052	△201,052	—
計	10,931,276	8,171,199	19,102,475	△201,052	18,901,422
セグメント利益	2,040,020	1,919,936	3,959,956	—	3,959,956

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	光学フィルム 事業	精密部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,750,998	8,841,627	19,592,626	—	19,592,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高	182,334	—	182,334	△182,334	—
計	10,933,333	8,841,627	19,774,961	△182,334	19,592,626
セグメント利益	2,270,512	2,281,066	4,551,578	—	4,551,578

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。